



コミュニティわかつき

11月の活動報告

幸せな社会を築く住民集会

11月3日(土)、若槻コミュニティセンターで明るく幸せな社会を築く住民集会が開催されました。今年から社会を明るくする運動、福祉大会と人権集会を合わせた実行委員会方式で行われ、100名が参加しました。

小中学生による作文発表、地域包括支援センターをテーマに福祉講話、また加藤さゆり副知事が「女性が元気な長野県をめざして」をテーマに講演されました。地域で活動する中で女性の参画が重要であると話されました。



加藤副知事の講演

若槻地区防災訓練



避難所運営ゲームに取り組む役員さん

11月4日(日)、若槻コミュニティセンターで自主防災会連絡協議会の主催で防災訓練が行われました。

長野県北部の地震を想定し、各区と本部の情報伝達訓練、市危機管理防災課 柄澤部主幹による防災対策講話、県危機管理防災課 番場指導員による避難所運営ゲーム(HUG)を行い、地区役員等60名が参加しました。

今回初めての試みで避難所運営ゲームを体験しました。避難所を運営する立場になったとき、避難者の受け入れや様々な出来事にどう対応すべきかを図面上で模擬体験するものです。

被災地で実際に困ったことは、仮設トイレ、ストーブや発電機の不足とのことでした。

やさしさ広がれチャリティバザー

11月11日(日)、若槻コミュニティセンターでチャリティバザーが行われました。

地域の皆さんや商店などから品物を提供していただき販売しました。開店1時間前から買物客が列をつくり、開店を待ちわびていました。

毎年買物客からの人気が高く、売上額は今年の実績額を上回る667,826円となりました。この売上金は歳末慰問品などの資金として活用されます。



品定めしている買い物客